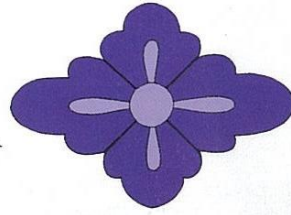


# 菩提樹

佛さまに育てられる年輪

第5号 平成16年12月発行



編集・発行  
正法寺

山口市大字江崎  
2710

TEL  
083-989-2213

FAX  
083-989-5339



特集

入寺御成婚

正法寺本廟落成

仏教婦人会80周年記念大会

# 新発意様御成婚

正法寺後継住職様が入寺され、その結婚式が平成十六年十月二十三日、正法寺本堂に於いて厳かに挙行されました。門信徒一同の喜びとするところでありま

す。  
新発意様は信様と申され、奈良県、吉野郡飯貝の本善寺様よりの入寺で、正法寺の参女、明華様と結婚されました。本善寺は蓮如上人建立のお寺で代々、ご子孫が住職であるという浄土真宗の名刹であります。正法寺も待望の後継者の入寺で一度に花が咲いたように、にぎわっています。住職もご安心でしょうし、益々のご法義の繁盛を願いたいと思います。今後のご多幸とご活躍を念じます。



正法寺十八世住職  
真城 瑞洋

## お礼とお願い

この度、不思議なご縁で、後継者を決し、入寺・結婚の式をあげることができました。

これも一重に、仏祖のご加護と、ご門徒の皆様のご支援の賜と衷心お礼申し上げます。

益々、良き縁に育て、念仏薫る寺院を築いて参りたいと思います。

「住職は門信徒が育てる」と申します。新発意はあたたかい、真摯な僧侶です。末永くお引き立て頂き、正法寺の次代を担う、後継者として、お導き下さいますようお願い申し上げます。

合掌



御両家ご家族

## 伝統の継承と繁栄を

総代 松村 哲男  
新発意・信様、若坊守・明華様、ご結婚おめでとうございます。

本願寺第八世「蓮如上人」が、吉野の飯貝の地にご創建された、由緒ある本善寺様から、信様には、ようこそ当寺『正法寺』へお出でなさいました。

門徒一同、一日千秋の想いでお待ち申しております。

ほんとうにご立派な方を、後継の住職としてお迎えすることができ、門徒一同感激でいっぱいです。

東井義雄先生が若人へ託されたことばの中に、

『太陽は、

朝がくるから昇るのではない  
太陽が昇るから、

朝がくるのだ』

という詩があります。この詩のように、新発意 信様には、正法寺の太陽となられて、若坊守 明華様と手を携えられ、煩惱に明け暮れ、暗闇にさまよいがちな私たちに、進むべき道標をご教導下さいますようお願いいたします。

また、幾久しく『岩瀧山正法寺』のご法義のご繁栄をお願いし、私たち門徒一同も、これからの一層、聞法に励むよう努めていきたいと思えます。

どうかよろしくお育て・お導きをお願い申し上げます。

去る十月二十三日、正法寺の御門徒衆をはじめ、多くの有縁の方々温かく見守られ、奈良の本善寺より入寺させて頂きました。俗名を信、法名を真信と申します。私が、

寺を立つ時には、本善寺の御門徒衆に大変寂しがつて頂き、私自身も、後髪を引かれる思いで山口へ参りました。しかし、正法寺の御門徒衆には、それ以上のありがたく温かい心で迎えて頂き、奈良を立つ時の寂しさも一気に消え去り、今は、正法寺の御門徒衆と共に、



先日の私たちの結婚に際しましては、多くの方々からお祝いして頂き、とても幸せな結婚式を挙げる事が出来ました。誠に有難うございました。子どもの頃から皆様に温かい

懸命一丸となつてお寺を護り、お互い誘い合つてお寺にお参りになつておられます。特に昨年の蓮如上人五百回遠忌法要では、皆様のお力に圧倒され、とても感動いたしました。このようなお寺でお育

お心で  
優しく  
見守りお  
育て頂き  
ました。正  
法寺は、ご門  
徒の皆様が一生

お念仏に薫る人生を歩めることをただ幸せに思うばかりであります。蓮如上人は、お子様の蓮淳様に対し「信心をよく決定して、人にもとらせよ」と仰せられました。僧侶というのは、人々に如来様のお心をお伝えし、正しい道を明らかにしていくことが務めではありますが、それにはまず、自分自身が、如来様の願いを受け入れ、如来様のお心を慶べる身とならせていただくなければならぬという意味です。皆様と共に、お聴聞の日暮らしを送らせて頂ける僧侶となつてゆきたいと思つております。どうぞよろしくお願い致します。

真城 信

若輩者故、行き届かない事、失礼なことばかりかと思ひますが、皆様のお導きのもと若院様と共にこの温かい正法寺の法灯を絶やさぬよう精進していきたくと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。

真城 明華

## 信様、明華様 ご結婚 おめでとう ございます。

お世話になります。世話人みんなでもりたてていきます。

＊世話人一同＊

門徒中が力を合わせてもできない事ができました。その力は愛・慈悲であり明華さんのお手柄です。

＊仏教壮年会＊

ご結婚おめでとうございます。一緒に仏青活動を盛り上げていきましょうね。お待ちしております。

＊仏教青年会＊

信様、明華様、御結婚おめでとうございます。子どもたちは、ご一緒にホールでしたおつとめをとても喜んでいました。これからもお待ちしておりますね。

＊嘉川保育園＊

まこと先生、さやか先生、ご結婚おめでとうございます。愛いっばい笑いっばいの楽しい家庭生活を築して下さい。

＊大内光輪保育園＊

信様、明華様、一日も早く親子で、日曜学校に参加して下さい。待つてまいります。

＊日曜学校＊

ご結婚おめでとうございます。若いお二人のパワーで正法寺に新風をおくってください。

＊若婦人会＊

芬陀利華に負けないお二人の若々しいハーモニーを、正法寺に響かせて下さい。

＊芬陀利華＊



正法寺本堂での  
仏式結婚式  
10/23



子どもたちに囲まれて

御披露宴

10/23



司婚のことば





# 門徒による 御結婚祝賀会 盛大に

## 10/24

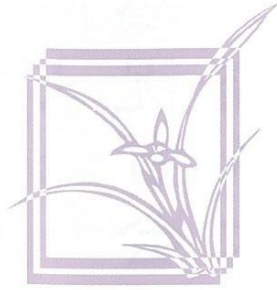
結婚式の翌日、好天にも恵まれた十月二十四日(日)、新山口駅前のレストランホテル大広間で、「門徒による結婚祝賀会」が盛大に、なごやかに開かれました。新郎・新婦のご両親、ご兄弟にも出席していただき、参加者は全部で二百十一人。一人一人のご門徒の顔に、待ち望んでいたこの慶事に遇うことができたよるこびとお二人を心から歓迎し、これからの開法生活をともに充実させていこうという決意があふれていました。



歌って 踊ってお♡め♡で♡と♡う♡

# 正法寺本廟・本廟会館落成

9月17日



長い間の宿願でありました正法寺本廟（納骨堂）を寺社設計で有名な株式会社「堂宮」さんに精密かつ壮麗な設計をして頂き、九州社寺建設工業株式会社施工により、おしみなく材料を用い、優美な堂宇を完成して頂きました。将来にわたり、有効に活用されることでしょう。

遠隔の方で郷土に墓地が欲しい、あるいは新屋で墓地がない、さらに、高齢化で墓地の管理が困難である等の理由で納骨堂への要望が一段と増加していました。そうしたご希望に応える為に建設に踏み切った次第です。三階建て、二階、

三階は納骨堂、一階は礼拝堂として使用し、椅子席でお聴聞もできます。また、ご法事やご葬儀にも利用できます。

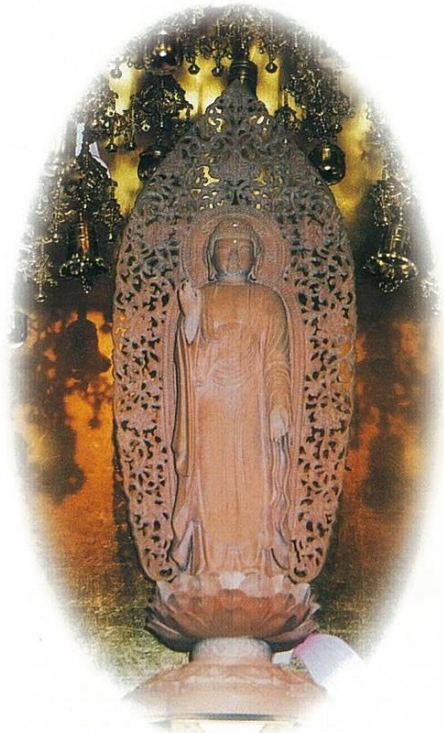
この本廟は多くの方に仏縁を持つて頂く為に建設したもので、参拝の方に広く浄土真宗のみ教えに出遇っていただくための施設です。どうぞ皆様の納骨堂としてご利用下さい。本廟では毎朝、お勤めがあり、二階、三階にもお経声が届くようになっていきます。



上棟式 6月22日



起工式 3月3日



1F 本廟会館 お内陣

阿弥陀如来立像造仏奉納  
 施主 前寺内 京仏師 村田 松雲 (村田 和彦) 様



2F 納骨堂



落成式 (9月17日)

御報謝

- 一、正法寺 揭示板
- 前寺内 棟久 正夫 様
- 前寺内 棟久 歌子 様
- 一、御内陣前燭六鳥荘 巖
- 前坊守 真城 文子 様
- 一、新発意用三部経々箱
- 今 井 伊藤 公祐 様
- 一、廟堂用 ホワイトボード
- 厚 東 渡辺 富士江 様



嘉川保育園児の落成記念演奏

# 仏教婦人会八十周年記念大会開催 十一月二十日

## 感動をこれからに つなげましょう

正法寺仏教婦人会八十周年記念式典の場において、本願寺総長、仏教婦人会総連盟から、次の三名の方が表彰を受けられました。  
長い間のご活躍に感謝いたします。



松村 桂子さん 藤永 紀子さん 上田千代子さん



十一月二十日

小春日和に恵まれた十一月二十日(日)、本堂いっぱいの方の参加のもとに、正法寺仏教婦人会八十周年の記念行事が行われました。

献華・献灯で始まった追弔法要、続いて行われた記念式典・祝賀会・記念講演の一日は、本日に感動の一日であり、八十周年の数多くの先輩のご苦労を改めてしのばせていただきました。

本堂焼失・再建の際の諸先輩のお姿。寒風吹きすさぶ中、防寒具も手袋も一切を断ち、復興の白だすきをかけ、「恩徳讃」を歌いつつ浄財の托鉢に歩かれた一人一人のお心。チョコ米や一円貯金など、ことばには言いつくせぬご苦労。「お内陣の莊嚴は婦人の手で」を合いことは

に会員一丸となつての力の結集。

今度は私たちがこれからつなげていかなければと心に刻んだことでした。

記念講演をいただいた外松先生の、行き先の定まっている私たちののだというお話に、心のやすらぎと大きな糧をいただきました。

この八十周年のご縁に出遇えたことは、私たち会員にとって大きな喜びでありました。

いろんな困難をのりこえられたからこそ今日があるのだと心をうたれませ。その会に連なる私は本当に幸せなのだと思つとも、その力を、



講師 外松太恵子先生



歴代記念冊子



音楽法要での記念式典



嘉川保育園児も鼓隊でおめでとう

### あとがき

今年正法寺にとつておめでたい事が続きました。そのお慶びをお伝えしたくて、全面カラーでの編集いたしました。  
また、台風や地震など大きな自然災害を受けた年でもありました。今、私たち一人ひとりに何ができるのかわが身にたずね、心を寄せあい、おみのりに生かされた日暮らしをいたしましょう。